

農村RMO伴走支援業務委託仕様書

1 目的

中山間地域において、コミュニティの維持や地域活性化に取り組む農村RMOモデル地区に対する伴走支援を実施するとともに、農村集落を支える中間支援組織の育成や連携強化による県域のサポート体制の構築、その他地域への普及・啓発等を図り、中山間地域の農業・農村の維持・強化を図ること。

【農村型地域運営組織（農村RMO：Region Management Organization）】

複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織。

【中間支援組織】

行政等と農村集落等の間に立ち、地域課題の解決に向けて専門的な立場から様々な分野をコーディネート・サポートする組織。

2 委託期間

契約の日から令和8年3月19日（木）まで

3 委託内容

（1）農村RMOモデル地区に対する伴走支援

モデル地区（以下3地区）において、農村RMOの形成と自走に向け、各地区の進捗に対応した伴走支援を実施すること。なお、モデル地区の伴走支援にあたっては、月1回以上の現地訪問又はオンライン会議等により信頼関係の構築を図り、支援を行うこと。

対象地区：日南市酒谷地区（3年目）、日南市下塚田地区（2年目）、小林市須木地区（1年目）

- ① 事業計画書や実績報告（経費積算や出納整理等の関係資料含む）等、申請手続きに係る資料作成の支援
- ② 事業の実施状況の把握やスケジュール管理の支援
- ③ 地域の実情に応じたビジョン検討会やワークショップ等の開催、ファシリテート等の支援
- ④ ビジョンに基づく農用地保全・地域資源活用・生活支援に関する調査・実証、デジタル活用に向けた取組等への支援
- ⑤ 地域内の連携体制づくり（複数の集落による集落協定や農業法人など農業者を母体とした組織と、自治会、社会福祉協議会など多様な地域の関係者との連携強化や協議会設立等の支援）
- ⑥ 事業終了後の持続性・自立性の確保に向けた助言（他の支援制度や補助金、会費、寄附のほか自主事業による収益等の財源確保による自走化に向けた助言等）
- ⑦ その他、国や県、市町村等のヒアリングや資料作成等に係る支援

（2）中間支援組織の形成及びネットワークづくり

中間支援組織による広域的な農村集落のサポート体制の構築に向け、以下の業務を実施すること。

1) 中間支援ネットワーク会議の開催

県内の中間支援組織、行政関係者等を参集し、農村集落のサポートや活性化に係る意見交換等の企画・実施（年2回）

2) 県内の中間支援組織（民間企業・団体等）の強みを活かし、広域的に集落をサポートできるネットワークづくり

- ① 各中間支援組織へのヒアリングや県外事例調査による特性や課題等の把握・分析
- ② 上記①の分析に基づき、中間支援組織が連携し、広域的に必要な集落サポート体制についての企画・提案

- ③ 各中間支援組織の取組を県内に紹介するホームページやチラシ等を作成し、サポート体制について周知（ホームページ一式、チラシ 300 部等）

4 成果品等

- ・ 各モデル地区における伴走支援の記録
（各地区の毎月の支援の記録のほか、各地区における農村RMOの課題や具体的な助言内容を含む）
 - ・ 中間支援組織の周知を図るホームページ、チラシ等
 - ・ 実績報告書（上記のほか、委託内容（１）～（２）の実績が分かる資料等）
- ※ 成果品については、電子データ（PDF データとパワーポイント等編集可能なデータ）及び紙媒体で納品すること。

5 経費

履行までに要する全ての経費を含む。

6 その他

- （１）著作権を含む成果品等についての権利は、県に帰属する。
- （２）業務を実施するにあたり、県と十分な調整を行うこと。
- （３）この仕様書に定める事項について、疑義が生じた場合、又はこの仕様書の定めのない事項については、必要に応じて、県と受託者が協議の上、定めるものとする。